

今年度の事業部はこう活動します

●高齢者福祉事業部

今年度は新入部員が4名加わり17名になりました。みんなで知恵を出し合い協力して事業に取り組みます。

一つ目は「みんなでランチ」(6月27日実施)70歳以上のひとり暮らしの方が対象の食事会です。部員手作りのお弁当をお話ししながらゆっくり味わって頂きます。毎年歌や踊りのゲストをお招きしています。

二つ目は「いきいき健康サロン」、少しでも長く自分で動ける体の維持を目的に「ふまねっと」を活用し

●児童福祉事業部

千代田荘40畳の大広間に小さな子どもたちのはしゃぐ声が響きます。若いお母さん方の楽しい交流の場となるように福祉委員・ボランティアの方々により毎月第二木曜日に乳幼児対象のひよこの会が開かれています。各月ごとに絵本の読み聞かせや栄養士・保健師さんのお話を伺うこともあります。

また7月29日には夏休み親子お楽しみ会を開催します。ヴィオラ演奏・お化け屋敷・ゲーム・スイカ割り・マジックバルーンなど盛りだく

た運動と、指先を使って干支の折り紙色紙作りをします。色紙には新年を迎える言葉や決意を書いて家に飾っている方もいます。

三つ目として「ちとせ」の夏祭り支援を行います。他施設でも必要であれば声をかけてください。
(清水)



昨年度の「みんなでランチ」

さんの企画、昼食はカレーライスが用意されます。毎年大勢の子どもたちで賑わいますが、今年度は「地域での子どもリーダーの育成を考える」をテーマに、より一層子どもたちと協力していこうと準備しています。

地域と家庭とで手をつなぎ、子どもたちの成長を見守ってゆきたいと願っています。
(泉)



●研修事業部

研修事業部は6月14日に自治会役員懇談会を実施しました。これは自治会・町内会・区代表者と地域の福祉活動について懇談し協力・協働体制の強化を図るためのものです。

7月12日は福祉研修会『どう変わった?介護保険』を佐倉市高齢者福祉課、佐倉市社協、白井千代田地域包括支援センターから講師を招いて行います。これは現在、介護保険が見直しの時期に入っていますのでその概要を関係機関の方たちに説明してもらいます。

●広報事業部

広報紙「社協ちよだ」の発行と、インターネット上のホームページの管理をしています。

「社協ちよだ」は、7・11・3月の年3回カラー版で発行します。千代田地区の約3,100世帯、また福祉関連施設、学校、地区社協に協力いただいている店舗等にもお届けします。

ホームページには、千代田地区社協の基礎情報のほか、近々行われる催しのお知らせ、千代田荘の利用

また、平成28年2月ごろ「認知症の人と家族を支えるまちづくり」をテーマに住民福祉懇談会を開く予定です。認知症の人と家族を地域で支えるためにどんな事が出来るのか、住民の方たちと話し合う場を作りたいと思っています。(住吉)

また、平成28年2月ごろ「認知症の人と家族を支えるまちづくり」をテーマに住民福祉懇談会を開く予定です。認知症の人と家族を地域で支えるためにどんな事が出来るのか、住民の方たちと話し合う場を作りたいと思っています。(住吉)



昨年度の「認知症サポーター養成講座」受講者にサポーターのしりしオリエンティングが渡されました

案内や利用状況。バックナンバーを含めた「社協ちよだ」の閲覧が可能です。昨年度から福祉マップも掲載しました。

本年度は、ホームページの模様替えを計画しています。
(多々良)

広報部員募集中

千代田地区社会福祉協議会

千代田荘案内図

4月期(土) 一人暮らし高齢者の福祉・食生活支援「一人暮らしでランチ」

7月期(日) 高齢者入浴「地域で生活を支えよう」

7月期(金) 「夏休み親子お楽しみ会」

7月期(土) 認知症サポーター養成講座「認知症を身近に」

7月期(日) 「アリスの思い出が詰まる」

地区社協ホームページ